

# 公民館 ふっさ

No.166 目次

- ① 公民館夏の平和事業
- ②③ 公民館ふっさ誌面講座  
～未来の自分につながる公民館の学習～
- ④ 公民館主催講座のお知らせ  
サークル紹介・会員募集

令和4年8月1日

## 編集 発行

- 福生市公民館  
公民館事務所
- 公民館松林分館
- 公民館白梅分館

〒197-0011 福生市福生2455 ※市民会館併設  
 〒197-0024 福生市牛浜163 さくら会館内  
 〒197-0013 福生市武蔵野台1丁目15-1  
 〒197-0003 福生市熊川559-1

☎ 042-552-2118 FAX 042-552-2228  
 ☎ 042-552-3624 FAX 042-530-2512  
 ☎ 042-553-3454 FAX 042-530-2513



公民館ページ  
QRコード

# 公民館夏の平和事業

福生市公民館では、8月に各公民館（本館・松林分館・白梅分館）で平和事業を実施します。  
 今年も、平和について一緒に考えてみませんか？

公民館本館 ☎552・2118

松林分館 ☎552・3624

白梅分館 ☎553・3454

■ 動画上映会 漆原智良氏による  
平和講演会「東京大空襲と『ほくと戦争の物語』」

今年3月に収録した漆原智良氏による講演会の動画を上映しますのでご覧ください。

漆原氏は東京大空襲で家族を亡くされ、戦災孤児として、戦争の恐ろしさや悲惨さ、そして平和の大切さや命の尊さを今まで各所で訴え続けてきました。

【日時】8月6日(土)  
 1回目 午前10時～正午  
 2回目 午後2時～4時  
 ※2回上映。2回とも、同じ内容になります。

【場所】さくら会館ホール

【対象】市内在住・在勤・在学の方

【定員】各回先着50人

【申込み】受付中。午前9時～午後5時の間に、直接または電話で公民館係へ

漆原氏はこの動画の収録の後、4月15日に急逝されました。  
 ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

■ 松林平和講演会  
「国際平和に向けて、日本にいる私たちにできること・考えること」

現在、紛争状態に陥っている国は数多く存在しています。

世界の情勢は、物価や物流などを通して、私たちの生活にも様々な影響を与えています。

日本で生活している私たちが、国際平和に向けてできることはどんなことなのか、講師の方にお話を伺うとともに、参加者同士で話し合うことで、平和を考える機会としましょう。

【日時】8月28日(日) 午前10時～正午

【場所】松林分館

【対象】市内在住・在勤・在学の方

【定員】先着15人

【講師】大瀧千輝氏(内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員)

【申込み】8月5日(金)から、午前9時～午後5時の間に、直接または電話で松林分館へ

■ 「白梅おはなし会」平和ってなんだろう～

戦争を知らない子どもたちに、平和の大切さを伝えるため、絵本をとおして「平和ってどんなこと?」「平和ってとても大事だね」ということなど、みんなで話し合います。

【日時】8月16日(火) 午前10時～11時

【場所】白梅分館

【対象】小学生(小学生は保護者同伴) ※未就学児は要保護者同伴

【定員】先着15人

【講師】おはなしボランティア ポケット☆ポケット、福生市立図書館職員

【内容】平和に関する絵本の読み聞かせのほか、いろいろな本の紹介

【申込み】受付中。午前9時～午後5時の間に、直接または電話で白梅分館へ



# 未来の自分につながる公民館の学習

公民館ふっさ 誌面講座

講師 たかさき よしひろ 高崎賢啓氏 (バリアフリー 2001)

高崎賢啓さんは、生まれたときから運動機能に障害があり、車いすで生活しています。2001年2月に公民館サークル「バリアフリー 2001」を発足。「バリアフリーなお出かけマップ」を発行し、情報発信をしています。

公民館との出会いは18歳。どのように関わってこれたのか、お話を伺いました。



講師プロフィール 東京都立あきる野学園高等部卒業後、民間企業等に就職。現在は福生市社会福祉協議会に勤務。

## ◆最初に自己紹介

私は生まれも育ちも福生市で、小さい時から鉄道が大好きで、おもちゃの電車を走らせ、好みの鉄道車両の絵を描くなどして過ごしていました。当然と言いますが、将来の夢は電車の運転士でした。

生まれた時から運動機能に障害があり、今でも歩くことや服の着脱、自分でトイレを済ますことも出来ません。ただ、成長や訓練を行っていくにつれて、動かせる範囲や方法は増えてきたため、書くことやパソコン操作などの簡単なことは出来るようになり、現在は電動車いすを使用し、事務職に就き仕事をしています。また、しゃべる事も得意であるので、小学校などで講演などをさせて頂いています。

## ◆どうして公民館と関わるようになったのか…

公民館との関わりは高校生時代に「公民館のつどい」に参加してからになります。毎年行われている「公民館のつどい」はその当時、公民館サークルや市民の有志が集まり、分科会を立ち上げ、参加者と一緒になって学習するというものでした。

## ◆『障害へのイメージ』が変わってきて思うこと

「障害」というイメージは、私が生まれた40年前と、今現在とでは相当違ってきています。街中を見るとバリアフリー化された建物や交通機関、仕事に勤めている方たちも多くなってきたおり、普段から障害を持つ方を見かけることは日常となってきました。

また、東京パラリンピックが開催され、アスリートとして活躍されている方によって、障害を持つ方が身近になった方も多くいるかと思えます。

ただ、ここまで来るために障害を持つ方や多くの先人たちが、声を上げてきたことを忘れてはいけません。思っています。あらゆる障害者の尊厳と権利を保障すると決められたのは、2006年12月に行われた国連総会での「障害者の権利に関する条約」が採択されたことからです。

日本では、2007年に外務大臣が条約に署名し、2014年に批准書を寄託し2月に効力を発生しました。ここに至るまで、多くの方たちの想いとエネルギーがあったからこそ、今の「障害へのイメージ」が変わってきたのだと考えます。

## ◆これから自分が出る

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、障害を持った方たち

した。

「障害者」への認識は今より高くはなく、現状を広く知ってもらいながら、今後に向けて考えていくための提案などを行うため、一年を通して分科会に向けての企画・準備をし、当日を迎えることになりました。

毎年、企画し実施されると終わってしまふことから、継続して取り組みを行い、より知識を高めることや市民の皆さんに「障害」について知ってほしいと考え、平成13年(2001年)2月に「バリアフリー2001」という公民館サークルを立ち上げました。

また、公民館活動の中で本館利用者連絡会の役員や本館まつりの実行委員長に携わらせていただき、公民館で活動されている皆さんと、楽しく交流した思い出がたくさんあります。

平成17年(2005年)からは、福生市公民館運営審議会委員として活動させていただき、都内の公民館にもお邪魔させていただくなど、より多くの方たちに出会うことができました。

## ◆『障害を持つという』こと

公民館を利用し始めた頃の私を知っている方には、考え方や人との関わり方が良い意味で変わってきたとよく言われます。そのことは自身も感じているところです。当時の私

の生活にも変化が生じました。それは私も同様で、以前のように介助の方と一緒に外出をすることや、会員みんなで集まるとのサークル活動をするなど、日ごろから「当たり前のこと」と思うことができなくなりまして。このことについては制限があり不便と思っていたのですが、この状況になったことで新しく課題が見えてきたところもあります。

また、現代の「障害」に関する課題は、福祉の観点だけで解決できるものではなく、様々な分野との関連性があり、社会全体の課題として取り組まなければならないと実感しています。いろいろな分野の方たちと協力しながら、少しでも住みよくなっているように、常に「学ぶ」ということで自身にも力を付け、学習をされる方々の手助けの一人として活動していきたいと思っています。

バリアフリー2001 高崎賢啓



福生市公民館運営審議会委員として(平成21年)

は、障害者が置かれている状況を知ってもらい、改善してくれればとの思いで活動していたので、いろんな分野の人たちとの関わり方はできていっていませんでした。

生まれた時から障害を持っていることで、同年代の方たちとの生活環境や育っていくときの経験は違いがあり、地域でのコミュニケーションを作っていくことはとても大変で、両親も苦労したと思います。

現代では、コミュニケーションツールなどが発展したことでやり取りが容易になってきました。また、同じ障害を持つ人が集まる機会も昔に比べればよくなってきています。

しかし、社会との関わりを持つことはハードルが高く、今も昔も変わっていないと考えます。「障害」を持つ者同士では、過ごしてきた環境や一緒の時間が多いため、少なからず関わる機会が近くにあるので、コミュニケーションを気軽に取ることが出来ます。

それに比べ、自分が知らない世界に出てコミュニケーションを取るとなると、自身のことを伝え、相手に知ってもらうことから始まるため、きっかけを作ることさえ苦労するのです。それは、現代を生きる人すべてに言えることだと思えますが、「障害」を持つ者にとっては、より難しいように思えるのです。

今回、誌面講座の講師をされた高崎さんが、9月に行う講座の講師を担当されます。  
ご興味のある方はぜひご参加ください！

## もっと知ろう！ 心のバリアフリー

一緒に地域で暮らすために

高崎さんから、日常生活における実体験やコロナ禍でのライフスタイル、地域とのつながりなどを伺い、障害のあるなしに関わらず、同じ地域に暮らすことについて考える講座です。  
【日時】 9月3日(土) 午後2時～3時30分  
【場所】 さくら会館ホール  
【対象】 市内在住・在勤・在学の方

【定員】 先着20人  
【講師】 高崎賢啓氏 (バリアフリー2001)  
【申込み】 8月5日(金) から、午前9時～午後5時の間に、直接または電話で公民館係  
(☎ 552・2118) へ

公民館主催講座のお知らせ

■白梅分館

白梅サマーコンサート

オーボエ・コールアングレ・チェロ・ピアノの素敵な音色を身近な場所でお楽しみいただける演奏会です。夏のひとつ、アンサンブルをお楽しみください。

【日時】8月27日(土)午後2時〜3時  
【場所】白梅分館

※お車での来館はご遠慮ください。

【対象】市内在住・在勤・在学の方

【定員】先着40人(事前申し込み制)

【曲目】「風笛」(NHK連続テレビ小説「あすか」テーマ曲、映画「ニューシネマパラダイス」より愛のテーマほか

【出演】森菜津子氏(オーボエ・コールアングレ)、岩崎茜氏(オーボエ)、村木裕介氏(チェロ)、山下やよい氏(ピアノ)

【申込み】8月5日(金)から、午前9時〜午後5時の間に、直接または電話で白梅分館(☎553・3454)へ



■本館

防災講座

「命を助ける智慧と技」

台風や集中豪雨、地震など、大規模な自然災害が年々増えています。被災してしまった場合を想定し、困難な状況を切り抜ける方法やコツを考えてみましょう。

【日時】9月24日、10月1日・15日の各土曜日、午後2時〜3時30分(全3回)

【場所】1回目はさくら会館ホール、2回目以降は市民会館・公民館第4・5集会室

【対象】市内在住・在勤・在学の方

【定員】先着20人

【講師】特定非営利活動法人日本防災士会東京都支部多摩ブロック

【申込み】9月6日(火)から、午前9時〜午後5時の間に、直接または電話で公民館係(☎552・2118)へ

予告案内

■白梅分館

「熊川分水に親しむ講座」

歩いて、目で見て、考える

みなさんは「熊川分水」をご存知ですか?この講座では、熊川分水を実際に歩きながら、現状を目で見て、これからどう保全・活用していけばよいかを考えていきます。

「熊川分水」を知っている方、そうでない方どちらも歓迎です。

【日時】9月3日・17日、10月1日・15日の各土曜日、午後1時30分〜3時(全4回)

詳細は広報ふっさ8月15日号をご覧ください。



サークル紹介・会員募集

◆いちごクラブ

女性対象のエアロビクスサークルです。思い切り身体を動かして、ストレスを発散しませんか?

お子さん連れの方には託児保育も行っていますので、小さいお子さんのいらっしゃるママさんもぜひどうぞ。

【活動日】毎週水曜日、午前10時〜11時15分

【場所】本館

【会費】入会金500円、月額3,000円 ※託児保育を利用する場合は、別途月額500円

【連絡先】小林 小夜子 ☎ kurabuchigo15@gmail.com

◆ふっさ草笛サークル

「福生」といえば草笛、草笛といえば福生を合言葉に、草笛を通して活動しているサークルです。

草笛は、葉っぱに息を吹きかけると音が出て、曲を奏でることができます。草笛にチャレンジしてみませんか!吹けると楽しいですよ。

【活動日】8月は12日と19日の金曜日、午後2時〜4時

【場所】さくら会館

【会費】月額1,000円

【連絡先】小野 豊 ☎ 090・6798・4175

